へ13
3740
81

門へ13
3740
81

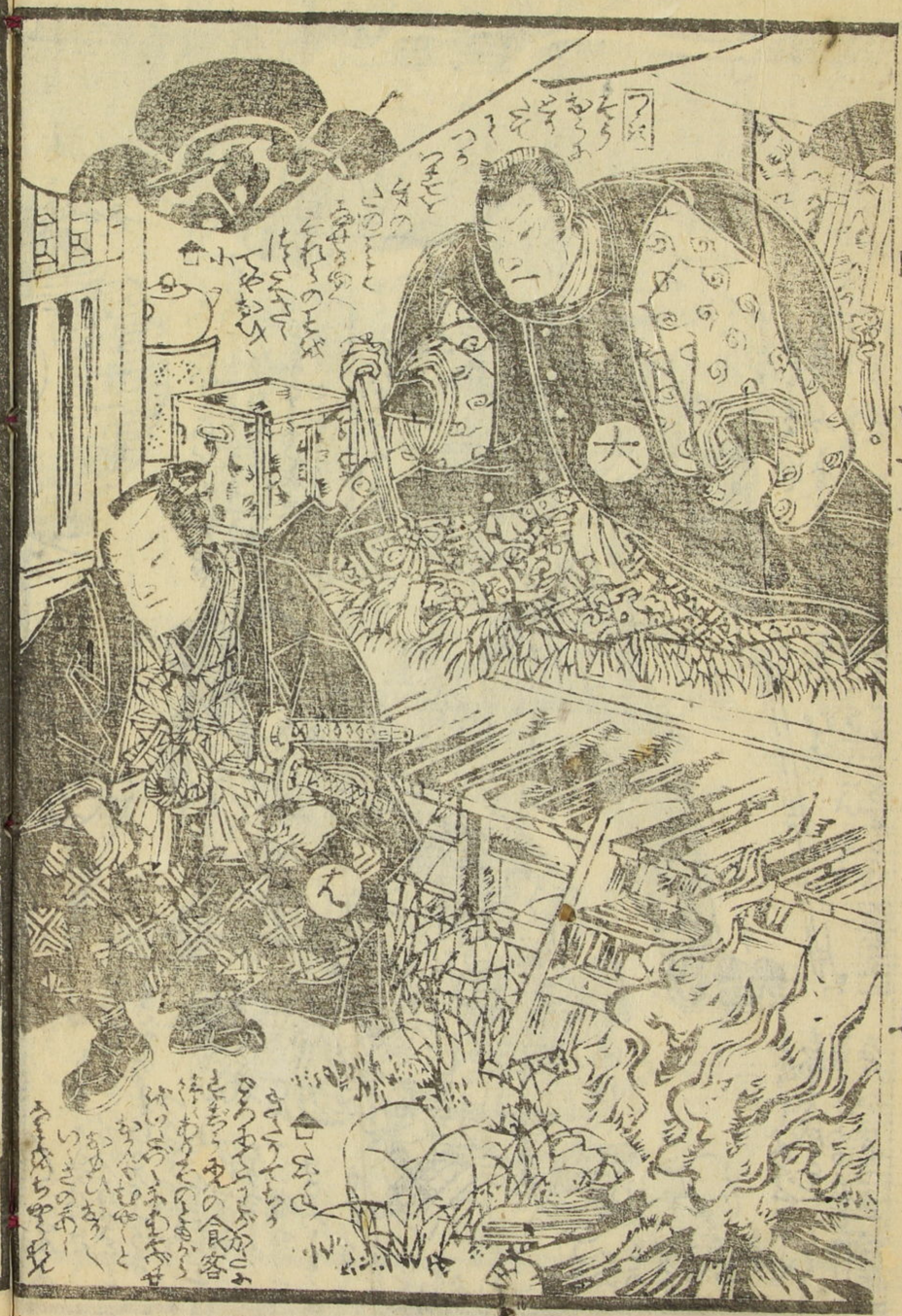
林間の酒をたづめて紅葉を焚くとあん賦したる風流の事變化で現に時雨降る十月の旬の十日の日の俳さんぶんを雇ふと諺ふさく言ふ俗事のことをかくまた些九三草紙に無沙汰あるを春の開處まで来く居るに何様ふく成僕近頃多忙にて其言譯を為すると書房うく屢言もて術なきに其言譯を右に左と並べ立つて端書に換へ

春水誌

女盗賊の首領
妙義の稲妻
正香
四郎
光照

正香の
塾僕
一心
加助

四十編のつゞき



大
丸
丹
加

春水作

國貞画

風流画半切　越前奉書紙　伊豫奉書紙

汪齋百圖　全　大錦四ノ切　百枚揃

忠臣義士銘々傳　大中き作　三ノ切　猛齋芳虎画　全十枚揃

御姿絵　三ノ切　猛齋芳虎画

同彩色　猛ごん一人ものがたり　三ノ切　猛齋芳虎画

當年新板　嘉志湊くらべ

東中ち僧　御姿絵進物　若林堂板